

# FUJITSU 統合業務ソリューション SUPER BENECAI

## お客様事例紹介 株式会社阪急阪神百貨店

### 株式会社 阪急阪神百貨店

● お客様

Hankyu 阪急百貨店

阪神百貨店



【本社】 大阪市北区角田町8番7号  
【設立】 2007年10月1日 商号  
【資本金】 200百万円  
【従業員数】 3,447名（2011年3月末現在）



株式会社阪急阪神百貨店  
福利厚生部長  
小山 弘恭 氏



イ仔・ツォー・リイック(株)財務  
担当部長  
榎本 鉄也 氏

SUPER BENECAI導入前のご状況についてお聞かせください。

### 「委託計算ではシミュレーションに“限界”があった」

「SUPER BENECAIの導入前は退職給付債務（PBO）計算を外部に委託しておりました。計算結果が必要な時期の3ヶ月前には依頼をしていたことを覚えています。

しかし、厚生年金基金の代行返上や退職年金制度変更の際に、制度のどの部分がどの程度変わると、どれくらいPBOが変動するのか等をシミュレーションしようとした時、外部委託ではコスト面はもとより時間の面でも限界がありました。（小山氏）」

SUPER BENECAIの導入経緯をお聞かせください。

### 「“数値の信頼性”が決め手」

#### ●SUPER BENECAIの導入に至った決め手は何でしょうか？

「ソフト導入に際しては、数社の中から総合的に判断してSUPER BENECAIに決定させて頂きましたが、一番の決め手は計算数値の信頼性でした。導入検討当時は、計算の前提条件を揃えてもソフトによっては計算結果が大きく異なるという声がありましたが、SUPER BENECAIは設定ツールが豊富であり、実態をそのまま計算できる点と、委託計算との突合せなども行って頂き、信頼し得るソフトと判断しました。（小山氏）」

「監査の際も、監査法人の年金数理人の方が算出したPBOとSUPER BENECAIで算定したPBOには、ほとんど乖離差がありませんでした。一般的には、差が大きく出ることもあるようですが、SUPER BENECAIにおける計算の正確性は監査法人からもお墨付きをもらっています。（榎本氏）」

SUPER BENECAI導入のメリットをお聞かせください。

### 「“会社”と“従業員”の双方が幸せとなる制度設計のための“基幹ツール”」

「従業員の福利厚生を考える立場としては、従業員の幸せと会社として従業員に対してできることのバランスを考える必要があります。退職金の制度設計を行う際、財務面からの数値検証で存続可能な制度が否かを知るにあたり、SUPER BENECAIは非常に有用なものです。

2000年に会計基準が変わり、PBOの概念が導入された当初は従来の会計数値と概念が大きく変わったため、正直困ったなと思いましたが、今となっては非常に合理的な考え方だと感じています。

会社の体力を見越して制度設計を行う際、当社にとってSUPER BENECAIは基幹ツールと考えています。（小山氏）」

SUPER BENECAL導入前のご状況についてお聞かせください。

「退職金制度見直しの“起点”」

「SUPER BENECALによる毎期の決算もさることながら、制度変更の際のコンサルティングサービスは本当にありがたく感じています。数多くの事例を取り扱われているので、他社状況や最新の動向を踏まえた適切なアドバイスは重宝しております。以前は変動の予測がつかず、暴れ馬のように感じていたPBOも、今では、制度をどのように変えたらどの程度PBOが動くのか予測がつくようになりました。阪急百貨店と阪神百貨店の合併の際も、事前の予想と実際のPBOの動きがほぼ同じでした。（小山氏）」

「この分野については、横断的に詳しい人間が社内にはいないため、相談相手に困ることが多いです。ですから、退職金制度の見直しを検討する際には、まずは御社に相談をしているのが現状です。

どこか1つの分野にだけ強いのではなく、会計・人事・システムとバランスよく豊富な業務知識を有しておられるので退職金制度の見直しにおいても起点となって頂いており、本当に頼りになります。（榎本氏）」

SUPER BENECALの導入経緯をお聞かせください。

「不慣れな人間へ“道標”をつけてくれる」

「まず何よりもサポートに安心感があります。退職給付会計という分野について、不慣れな人間に対し即座に道標をつけてくれるところが大変助かっています。当社でも退職給付以外のシステムも多く利用していますが、一般的なシステムベンダーが提供してくれるサポートとは質が違うと感じています。

また、昨今何かと話題になるIFRSについても、いくつかセミナーに参加して情報収集を行いました。御社のセミナーが一番分かりやすかったです。（榎本氏）」

「年金制度を今後も維持していくために、会計上は現時点でどのくらい備えが必要なのかということ把握する上で、SUPER BENECALというソフトは非常に有効なツールです。いつも僕らが聞きたい答えを返してくれる御社のサポートには本当に助かっており、とても信頼しています。（小山氏）」

SUPER BENECALに今後期待することをお聞かせください。

「SUPER BENECALがより一層スタンダードな存在になり、貴社が様々な事例を取り扱うことによってノウハウを蓄積して頂き、そのノウハウを私達に還元して頂くことです。今後も制度見直しの際には、頼りにさせていただきますので宜しくお願いします。

（小山氏）」

「おそらく、今後も更にSUPER BENECALユーザーは増えていくことかと思えます。そうなった時も、現在のサポートのスタンスを変えずに維持し続けてください。（榎本氏）」

※ SUPER BENECALとは・・・

決算に必要な退職給付関連数値算定だけでなく、最大20年間の中長期予測機能や各種シミュレーション・分析機能を装備し、導入実績570社を超えるお客様にて決算数値算定及び経営管理ツールとしてご活用頂いている退職給付債務管理パッケージです。国内基準はもとよりIFRSにも対応しており、決算の他、予算管理・事業計画・キャッシュフロー予測・制度変更影響分析・人事管理など幅広い目的で活用可能です。担当制サポートにより通常のサポートのみならず監査対応も安心です。

サポート担当者



富士通Japan株式会社  
共通ソリューション開発本部  
第三ソリューション事業部  
第三ソリューション部  
河野 敬一郎

SUPER BENECAL導入から現在まで

【退職給付制度】

（導入時） 退職金制度、厚生年金基金制度  
（現在） 退職金制度、確定給付企業年金制度、確定拠出年金制度

【監査法人】

有限責任 あずさ監査法人

【SUPER BENECAL対応経緯】

2004年 SUPER BENECAL導入（退職金改定、代行返上）  
2005年 制度変更（退職金改定）  
2008年 制度変更（退職金改定）  
2009年 制度変更（阪神百貨店統合対応）  
2010年 基準改正（IFRS）試算

お問い合わせ先

富士通Japan株式会社  
共通ソリューション開発本部  
第三ソリューション事業部  
第三ソリューション部 退職給付会計チーム  
E-mail : contact-benecal@cs.jp.fujitsu.com

ご案内担当